

平成 26 年 4 月 18 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 466 回 構造懇話会 平成 26 年度 総会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 26 年度 総会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 26 年 5 月 20 日(火) 14:50～19:30

2. 場 所 **神戸市教育会館 404号室**

神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111

3. 議 題

1)平成 26 年度総会 14:50～15:40

休憩 15:40～15:50

2)特別講演 15:50～17:20

『明石海峡大橋にかけた夢とロマン』

島田 喜十郎 氏

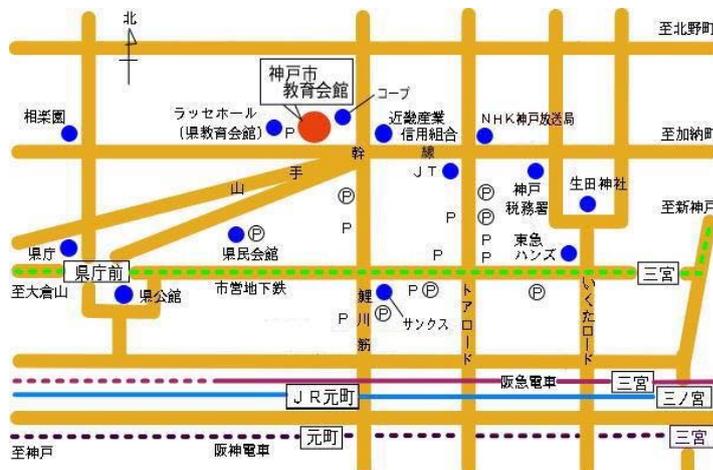
3)懇親会 17:30～19:30

神戸市教育会館 403号室

[連絡先] 〒530-0012 大阪市北区芝田1-4-8北阪急ビル4階
阪急設計コンサルタント株式会社 櫛田周平

TEL:06-6359-2755/FAX:06-6359-2762/e-mail:kushida-s231@sekkei.hankyu.co.jp

[案内図]



【特別講演要旨】

『明石海峡大橋にかけた夢とロマン』

①講演者

島田 喜十郎 氏

②内容

明石海峡大橋は夢のかけ橋時代から、長い年月の努力を経て平成10年4月5日に完成した。その間に語りつくせないほど多くの物語を生み出した。その雄姿は海峡にすんなりとおさまり、わが国の技術、経済の発展を誇示し人目をひいている。

世界最大のこの橋は長寿を保ち世界遺産登録の夢も出てきている。経年管理にたずさわる橋守の人たちにも温かい視線が注がれ、国の内外から見学者が増えている。

これからもロマンを追いつづける同橋の物語を、橋の科学館での解説員としての語り部体験をもとにして、多くのパワーポイントの画像を用いて紹介する。

③講演者略歴

1931年大阪市に生まれる。大学で橋梁工学を専攻。1959年夢のかけ橋(明石海峡大橋)建設提唱者、原口神戸市長を慕い神戸市に入る。都市計画街路の計画、神戸大橋等の港湾施設の建設をはじめ、明石海峡大橋の建設促進および架橋の可能性の技術調査業務に従事。阪神高速道路公団、本州四国連絡橋公団に出向し実務経験を積む。

本州四国連絡橋公団には1973年から1979年の7年間勤務し、第一建設局では大鳴門橋の着工準備、明石海峡大橋の現地調査、構造検討業務を担当する。本社においては本四3ルート設計基準類、技術的問題点の研究、検討業務にたずさわる。最後は垂水工事事務所長として、明石海峡大橋の実現にむけての業務に専念する。

1992年 神戸市定年。大阪工業大学非常勤講師、建設会社理事、橋梁会社技監、建設コンサルタント島田構造物研究所所長等を経て、現在、講演・執筆活動中。

1998年より約10年間本四公団[現・本四連絡高速道路(株)]の橋の科学館で橋のマイスターとして、週1回ボランティア解説員をした。

(明石市在住:土木学会フェロー会員、工学博士、技術士)